

1 自然や景観、生活環境を守る

1 自然や景観、生活環境を守る

環境保全の推進

232万円

(企画環境課環境モデル都市推進係)

前年度予算額259万円

環境モデル都市ニセコ町は、良好な自然環境を次世代へと引き継ぎ、自然と共生し持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めます。

このため、環境モデル都市に関連する会議・フォーラムに参加し、先進事例などの情報収集を行うほか、水生昆虫観察会の開催や町民エコポイント還元事業の実証実験を行います。

また、CO₂削減の取り組みを町民生活へ広げるため北海道環境財団と連携し、日常生活と関わりが深く、興味がわく話題をとり上げ、気軽に参加できるエコナイトカフェを開催します。

主な経費

環境モデル都市会議等参加旅費	71万円
水生昆虫観察会開催経費	17万円
電気自動車充電スタンド設置補助金	10万円
環境会議等負担金	24万円
町民エコポイント還元事業経費	38万円
その他事務経費	72万円



環境基本計画などの進行管理 27万円

(企画環境課環境モデル都市推進係) 前年度予算額127万円

環境基本計画、環境モデル都市アクションプランなど進捗状況の管理と評価を行うため、環境審議会を開催し、環境保全に関する取り組みを進めます。

また、平成28年度に作成したニセコ町環境白書概要版を印刷し、町民および関係機関などへ配布します。

主な経費

環境審議会開催経費	19万円
環境白書概要版印刷製本費	8万円

生物多様性の保全 31万円

(企画環境課環境モデル都市推進係) 前年度予算額31万円

環境基本計画に基づく生物多様性の保全を推進するため、後志管内15町村などで構成される後志地域生物多様性協議会に参画し情報収集を行います。

また、オビラメの会が行うイトウの再導入を目的とした親魚飼育池の管理などに係る経費の一部を補助します。

■生物多様性とは

地球上の生物がバラエティに富んでいることを言います。しかし、自然環境の悪化により多くの生物が世界中で失われかけています。この生態系を守ることが重要です。

主な経費

後志地域生物多様性協議会負担金	1万円
オビラメの会補助金	30万円

1 自然や景観、生活環境を守る

準都市計画事務経費

11万円

(建設課都市計画係)

前年度予算額11万円

近年ニセコアンヌプリ山麓を中心に土地取引が活発に行われ、大規模な開発が予想されたことから、町では良好な自然景観を確保することを目的に、平成21年3月に準都市計画を策定しました。また、同年7月には特定用途制限地域や景観地区を指定しました。

今後もルールの適正化やニセコ町都市計画審議会の開催を通して、美しい町の景観保全を図ります。

主な経費

旅費	5万円
ニセコ町都市計画審議会報酬	5万円
その他事務経費	1万円

財源

北海道の負担額	2万円
地図などの売払代金	1万円
ニセコ町の負担額	8万円



土地利用対策事業

21万円

(建設課都市計画係)

前年度予算額9万円

国土利用計画法に基づき、10,000㎡以上の土地取引の届出受付などの事務を行います。

また、町内の廃屋について、所有者を特定したうえで撤去を要請するための事務を行います。本年度は「空き家等対策計画」を策定し、空き家等対策を重点的に勧めることから事務経費が微増しています。

主な経費

複写機使用料	4万円
消耗品費	3万円
旅費	11万円
その他事務経費	3万円

財源

北海道の負担額	7万円
ニセコ町の負担額	14万円

町有林の管理

777万円

(農政課畜産林務係)

前年度予算額636万円

町の財産である町有林の管理のための経費を計上します。

主な経費

間伐に係る経費	579万円
作業道の補修に係る経費	149万円
その他の事務経費	49万円

財源

北海道（間伐経費）の負担額	322万円
木材の販売代金	177万円
ニセコ町の負担額	278万円

1 自然や景観、生活環境を守る

林業の振興 889万円

(農政課畜産林務係) 前年度予算額820万円

ニセコ町の林業の振興を図り奨励する事業費と、有害鳥獣対策に係る経費です。

主な経費

林業振興に係る事務経費	38万円
除間伐を行った場合に補助する補助金	30万円
森林に植林する事業を行った時に補助する補助金	468万円
有害鳥獣対策に係る経費	353万円

財源

北海道の負担額(植林経費)	288万円
ニセコ町の負担額	601万円

水道水源・地下水の保全 18万円

(企画環境課環境モデル都市推進係) 前年度予算額40万円

水道水源保護条例、地下水保全条例に基づき、開発などによる水源の汚濁・枯渇を防ぎ、ニセコ町の良好な水環境を守る取り組みを進めます。

また、全国で水資源保全に積極的に取り組んでいる自治体などが加盟する水資源保全全国自治体会議に参加し、情報収集を行います。

主な経費

水資源保全審議会開催経費	8万円
旅費など	10万円

河川の維持管理 33万円

(建設課管理係) 前年度予算額36万円

川底に土砂が堆積して浅くなっている箇所の土砂の除去を行います。

また、有島木道の腐食箇所の修繕を行います。

主な経費

作業手数料	7万円
作業機械借上	15万円
補修用材料費	11万円

財源

河川堤防敷地使用料	25万円
水利使用料	6万円
ニセコ町の負担額	2万円

水道メーター取替事業 1,058万円

(上下水道課維持係) 前年度予算額814万円

水道の使用量を確認するため、使用者の住宅などには量水器(水道メーター)を取り付けています。この機器は、法律で8年を過ぎたものは取り替えるよう定められていることから、計画的に交換を行っています。

- 工事箇所：ニセコ町全域
- 工事期間：4月上旬～10月下旬

主な経費

取替用水道メーター(368台)	534万円
水道メーター取替工事費	524万円

1 自然や景観、生活環境を守る

水道施設の更新・補修事業

2,993 万円

(上下水道課維持係)

前年度予算額1億5,010 万円

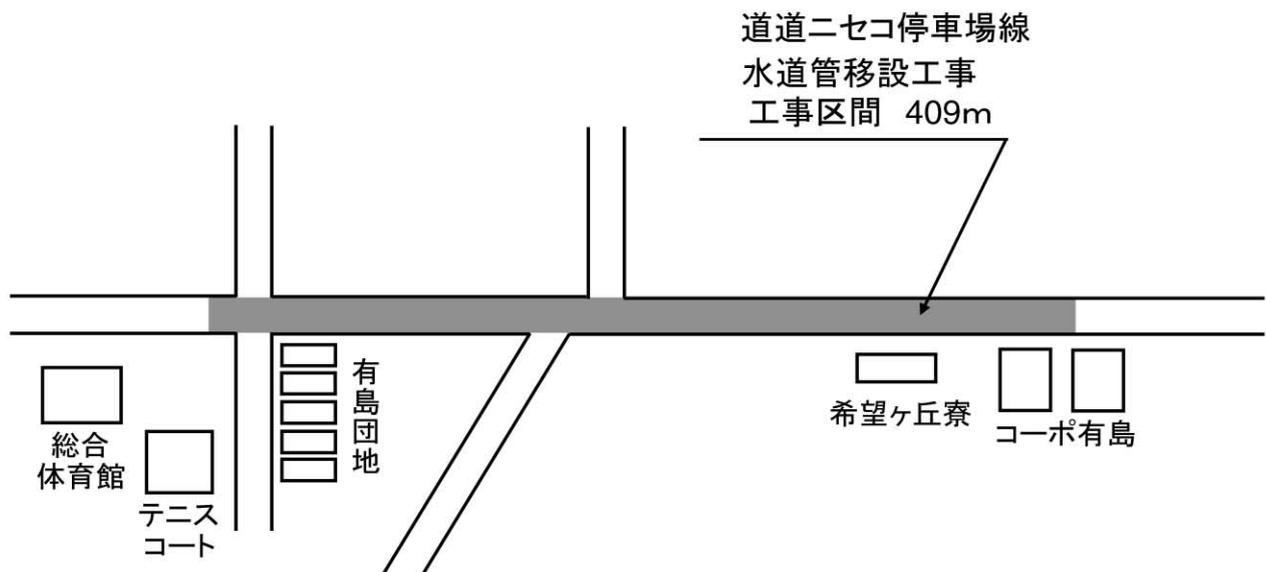
水道管や浄水場の機械など、水道施設にもそれぞれ耐用期限があり、定期的な更新をする必要があります。このほか、予期せぬ故障や破損を修理したり、道路工事に伴って水道管を移設したりする場合があります。

平成29年度は、水道管で設置後30年以上を経過し漏水事故が多発している箇所を更新工事を行います。また、昨年に引き続き道道二セコ停車場線の歩道整備工事に合わせ、道路脇に布設された水道管を移設します。

浄水場や配水地では老朽化した壁および基礎部の修繕工事を行います。

主な経費

水道管などの移設・更新工事	2,285万円
配水池・浄水場などの修繕工事	368万円
予期せぬ漏水事故などの修復工事	300万円
水道施設の設計委託料	40万円



1 自然や景観、生活環境を守る

水道施設の維持管理

4,357万円

(上下水道課維持係)

前年度予算額4,419万円

町民のみなさんに清潔で安全な水を供給するため、水質検査や水道施設の維持管理に必要な経費です。水質検査は蛇口からの通常検査（毎月1回）のほか、水源池の原水精密検査（年1回）と浄水精密検査（年4回）を行い、水道水の安全性を確認します。

町内には160km以上の水道管が敷設されており、浄水場などの水道施設も10か所以上にのぼります。これらの施設は町職員1、2人で維持管理していましたが、災害時などの対応力向上や、より専門的な維持管理を目指すため、平成27年から民間企業に維持管理を委託しています。今年度は将来に向けて持続可能な水道運営体制のあり方について検討を行います。

主な経費

水道施設維持管理経費（電気料など）	744万円
水道水質検査業務	646万円
水道施設維持管理業務	2,906万円
配水池水槽内清掃業務	61万円

簡易水道事業運営経費 1,643万円

(上下水道課維持係)

前年度予算額1,812万円

簡易水道事業を運営するために必要な経費です。担当職員の人件費や水道料金に関する経費、その他水道事業に必要な事務経費などが含まれます。

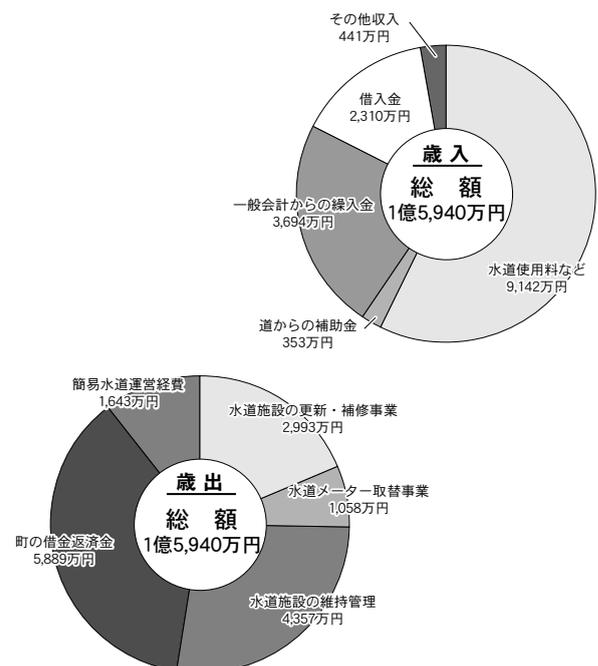
また、水道料金をコンビニエンスストアでも支払えるようにするための収納代行手数料なども計上しています。

主な経費

人件費など	1,042万円
水道事業事務経費	39万円
水道料金に関する経費 （封筒代、郵便料、検針委託代、検針機器 購入費など）	509万円
コンビニ支払いに要する経費（手数料など）	53万円

簡易水道事業（特別会計）

二セコ町の水道事業は、法律の区分から「簡易水道事業」と呼ばれ、町の一般会計とは別の会計を作り管理しています。



1 自然や景観、生活環境を守る

水道施設建設などの償還金（借金の返済） 5,889万円

（上下水道課維持係） 前年度予算額6,585万円

水道管の敷設や配水池などの水道施設を建設するために借りたお金を返済します。返済金の一部は、国から補てんされます。

主な経費

元金返済分	4,432万円
利子返済分	1,457万円

財源

国からの交付額（見込み）	1,736万円
二セコ町の負担額（見込み）	4,153万円

下水道運営経費 1,926万円

（上下水道課管理係） 前年度予算額1,915万円

下水道事業を運営していくために必要な経費です。担当職員の人件費や消耗品、負担金などの費用が含まれます。

主な経費

人件費など	1,605万円
その他の事務費	321万円

下水道管理センター・ポンプ所の維持管理経費 3,635万円

（上下水道課管理係） 前年度予算額3,754万円

各家庭から出される汚水は、下水道管やポンプ所を通り、下水道管理センターに集められます。汚水の量は1日に約630m³。25mのプール2.1杯分にもなるこの汚水は、センター内の水槽で微生物の力を借りながらきれいな水と汚泥に分けます。水は川に戻し、汚泥は堆肥センターで堆肥の原料になります。

このように、町ではごみの発生しない循環型社会の確立へ向けた取り組みを行っています。

主な経費

下水道管理センター・ポンプ所維持管理料 （運営委託・電気機械整備・汚泥処理費など）	2,721万円
下水道管理センターの光熱水費など	524万円
その他の運営経費	390万円

公共下水道整備事業 7,586万円

（上下水道課管理係） 前年度予算額5,338万円

下水道施設は使用が始まってから17年目となり、下水道管理センター内で使用している水処理をする機械設備や電気機器は更新の時期を迎えています。

町ではこれらの施設や機器の調査を行い長寿命化計画を策定しており、現在この計画に添って更新を行っています。昨年に引き続き下水道管理センターの電気計装設備の更新工事を行います。

また、道道二セコ停車場線の歩道整備工事に合わせ下水道管きょ施設の移設工事も行います。

主な経費

事務費や旅費・使用料など	33万円
下水道管理センター電気計装設備更新工事	7,200万円
マンホールポンプ所警報装置更新工事	353万円

財源

国からの交付金	3,960万円
二セコ町の負担額 （うち借金）	3,626万円 3,590万円

1 自然や景観、生活環境を守る

下水道施設維持管理経費 154万円

(上下水道課管理係) 前年度予算額147万円

町内には下水道管が約22km敷設されており、この下水道管が詰まるなどの事故が起きないように、管内の清掃やマンホール周辺の傷んだ舗装の補修を行います。

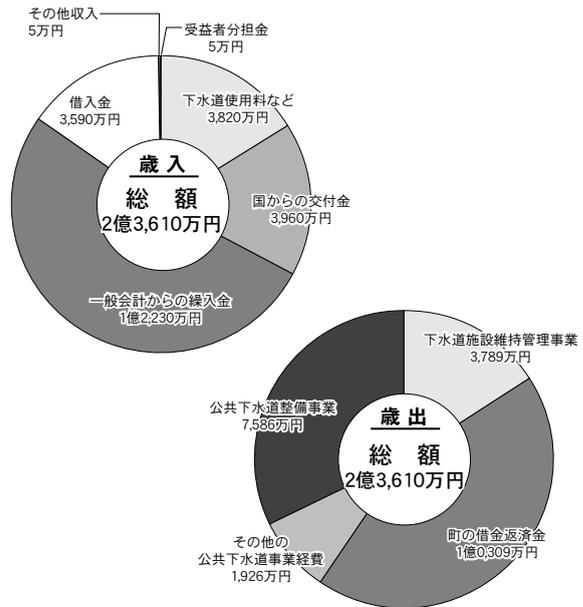
主な経費

下水道管きよ・管路維持補修業務	112万円
公共下水道施設台帳修正業務	25万円
その他の維持管理経費	17万円

下水道事業（特別会計）

(上下水道課管理係)

下水道事業は平成7年度から着工し、平成12年度から市街地区で使用しています。また、簡易水道事業と同様に町の一般会計とは別の会計を作り管理しています。



下水道施設建設等償還金(借金の返済) 1億309万円

(上下水道課管理係) 前年度予算額1億206万円

下水道管や下水道管理センターを建設するために借りたお金を返済します。返済金には、国から交付金が交付されます。

主な経費

元金返済分	8,790万円
利子返済分	1,519万円

財源

国からの交付額(見込み)	5,402万円
二セコ町の負担額(見込み)	4,907万円

農業集落排水施設の維持管理経費 215万円

(上下水道課管理係) 前年度予算額242万円

農業集落排水施設の利用は、平成16年度から始まりました。各家庭から出された汚水は、蘭越町が管理する終末処理場で処理しています。この汚水量に応じた処理費用を蘭越町に支払います。

今後も町が管理している汚水管やポンプ所は、引き続き適正に維持管理します。

主な経費

昆布地区農業集落排水事業負担金	192万円
マンホール、ポンプ所電気料・電話料など	23万円

1 自然や景観、生活環境を守る

農業集落排水事業運営経費 7万円

(上下水道課管理係) 前年度予算額7万円

農業集落排水事業を運営していくために、必要となる消耗品や事務費などの費用です。

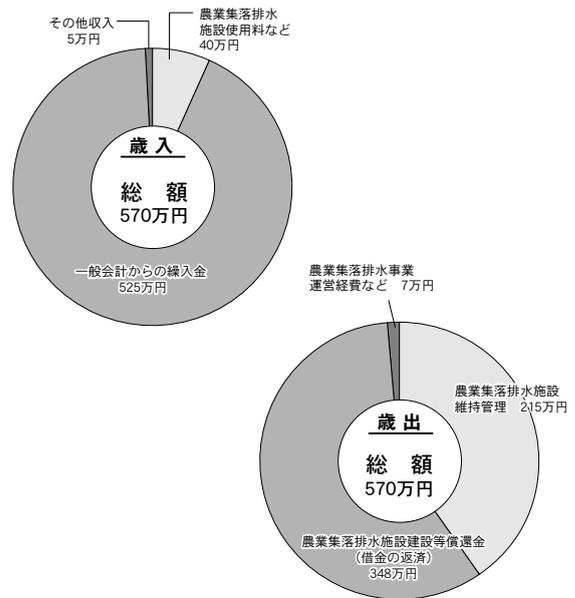
主な経費

消耗品や事務費など 7万円

農業集落排水事業（特別会計）

(上下水道課管理係)

西富地区の下水道は、蘭越町との広域事業（農業集落排水事業）で進められ、平成16年度から使用されています。



農業集落排水事業施設建設などの償還金 (借金の返済) 348万円

(上下水道課管理係) 前年度予算額351万円

汚水管や処理場を建設するために借りたお金を返済します。返済金には、国から交付金が交付されます。

主な経費

元金の返済分 280万円
 利子の返済分 68万円

財源

国からの交付額 (見込み) 141万円
 二セコ町の負担額 (見込み) 207万円

将来も安全・安心な水道を使用するために

二セコ町の水道施設は、最も古い施設で昭和30年代に整備されています。私たちが毎日当たり前のように使用している水道ですが、水道管や水をためる水槽、水を浄化する機械などは時間の経過とともに少しずつ劣化し、耐用年数を過ぎると故障が多発するようになります。

しかし現在の水道料金収入では、施設の維持費もまかなうことができず、他の収入から繰り入れ（補てん）をして運営している状態です。

さらに、これから必要となる施設更新費用も水道料金収入には含まれていません。

町では、将来に向けて引き続き安心・安全な水道を使い続けられるよう審議会を立ち上げ、水道料金区分の見直しや料金の改定、将来の水道運営体制のあり方などについて検討を行います。

1 自然や景観、生活環境を守る

し尿処理（くみ取り）事業 3,534万円

（町民生活課生活環境係） 前年度予算額3,759万円

一般家庭のし尿の収集は、毎年3月に申込を受け付け、自治会ごとの収集計画に基づいて実施します。なお、収集は原則的に年3回となっています。また、追加の収集は特別な事情を除いて、1～3月の調整月に別途お申し込みください。

■収集事業者

（有）塚越産業 ☎0136-44-2630

し尿や浄化槽汚泥の処理は、羊蹄山麓環境衛生組合（構成町村＝倶知安町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町）が一括して行っています。なお、し尿処理業務を安定的・継続的に行うため、平成29年4月よりし尿処理料金が改定されます。10リットル当たり77円（税込）から85円（税込）になりますので、みなさんのご協力をお願いします。

主な経費

羊蹄山麓環境衛生組合負担金 3,534万円

浄化槽整備事業 677万円

（町民生活課生活環境係） 前年度予算額486万円

浄化槽は、トイレや台所、風呂などの生活排水を敷地内で処理する設備です。町では水質汚濁を防止し、生活環境を守り、公衆衛生を向上させるため浄化槽の設置費用の一部を補助します。

主な経費

北海道合併処理浄化槽普及促進協議会
負担金など 2万円
浄化槽設置整備事業補助 675万円

財 源

国の負担額	193万円
ニセコ町の負担額	484万円

浄化槽設置費用の一部を補助します

（町民生活課生活環境係）

町では浄化槽の設置費用の一部を補助しています。補助対象は、公共下水道と農業集落排水処理施設の処理区域外の住宅です。なお、補助金は浄化槽本体と本体の設置に係る標準工事費の45%または55%ですが、限度額は次のとおりです。

浄化槽設置整備事業補助金限度額

区 分	限 度 額	
	住宅の新築に伴う新設	くみ取り式や単独浄化槽からの切り替え
5人槽	40万円	49万円
7人槽	49万円	60万円
10人槽	68万円	84万円

○詳しくは町民生活課生活環境係（☎0136-44-2121）までお問い合わせください。

不法投棄廃棄物対策 5万円

（町民生活課生活環境係） 前年度予算額5万円

廃棄物を不法投棄した人には、法律により5年以下の懲役、1,000万円以下の罰金、またはその両方が科せられ、法人は最大3億円の罰金が科せられます。

また、社会通念上やむを得ないと認められた場合（神社で行うどんど焼きなど）を除き、家庭ごみや農業用ビニールなど廃棄物を野外で焼却した人は、3年以下の懲役、300万円以下の罰金またはその両方が科せられます。町内でも摘発例がありますので、このような行為は絶対にやめましょう。

町では、引続きごみの排出や分別の指導とあわせて、廃棄物の不法投棄や野外での焼却などの巡視を行い、地域環境の保全に努めます。

主な経費

不法投棄廃棄物処理手数料 5万円

1 自然や景観、生活環境を守る

ごみ収集事業

7,581万円

(町民生活課生活環境係)

前年度予算額7,530万円

一般廃棄物（燃やすごみ、燃やさないごみ、生ごみ、資源ごみなど）を収集運搬し、処理をしています。

なお、ごみの減量化や効率的な収集運搬業務を行うため、ごみの出し方のルールを守り、正しい分別方法の徹底をお願いします。

また、ダストボックスの維持管理については、各自治会のみなさんをお願いしています。引続き清掃や除雪などにご協力をお願いします。

※ごみの出し方や分別方法については、くらしの情報編189、190ページをご覧ください

主な経費

ごみ収集運搬業務委託料	6,458万円
町指定袋購入費	908万円
ごみ処理券取扱業務委託料	122万円
ダストボックス維持補修経費	93万円

財源

ごみ処理手数料（町指定袋販売収入など）	1,946万円
一般廃棄物処理業許可申請手数料	2万円
ニセコ町の負担額	5,633万円

廃棄物の広域処理事業

3,661万円

(町民生活課生活環境係)

前年度予算額3,413万円

「燃やすごみ」については、羊蹄山麓7町村（倶知安町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町）が共同して、民間事業者へ委託し固形燃料化処理をしています。

固形燃料化処理とは、燃やすごみをペレット状の固形燃料にして再生利用するもので、資源循環型社会に寄与できます。

また、「燃やさないごみ」と「粗大ごみ」については、倶知安町を除く6町村が共同して、蘭越町粗大ごみ処理施設で破碎処理・選別をしています。選別されてきた可燃物は固形燃料化処理し、金属類は再資源化しています。最終的に残ったものは、各町村最終処分場で埋め立て処理します。

主な経費

羊蹄山麓地域一般廃棄物可燃ごみ処理業務委託料	3,226万円
蘭越町粗大ごみ処理施設維持管理業務負担金	283万円
破碎不燃物運搬業務委託料	134万円
一般廃棄物可燃ごみ質展開検査分析委託業務	16万円
羊蹄山麓地域廃棄物広域処理連絡協議会負担金	2万円

1 自然や景観、生活環境を守る

資源物のリサイクル推進事業

2,272万円

(町民生活課生活環境係)

前年度予算 2,233万円

資源としてリサイクルできるごみは無料で回収していますが、再商品化までには、収集・運搬・選別・一時保管などに費用を必要とします。

この費用を少なくするため、一人ひとりがきちんと分別して資源ごみを出していただくことが基本となりますので、ご協力をお願いします。

なお、今年は使用済小型家電のリサイクル回収を3回程度実施します。ご家庭で不用になった小型家電がありましたら回収にご協力をお願いいたします。

主な経費

資源ごみ分別保管業務委託料	1,615万円
生ごみ・下水道汚泥処理負担金	535万円
容器包装物再商品化業務委託料	39万円
廃乾電池・蛍光灯処理業務委託料	42万円
使用済小型家電運搬業務委託料	26万円
リサイクル推進の事務及び管理経費	15万円

財源

資源ごみ売払い収入	10万円
下水道汚泥処理負担金	166万円
ニセコ町の負担額	2,096万円

一般廃棄物最終処分場の維持管理 783万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額876万円

一般廃棄物最終処分場では、焼却灰と粗大ごみ処理施設で破碎処理されたものを埋め立て処分しています。この埋め立てたごみの適正管理のため、施設の維持管理を行います。

この処分場は、このままのペースで埋め立てると、数年でいっぱいになる見込です。ごみの最終処分の民間委託や次期の処分場について検討していますが、現在の処分場をできるだけ長く利用するため、燃やさないごみ、粗大ごみの減量と資源ごみの分別にご協力をお願いします。

主な経費

水処理施設維持管理業務委託料	323万円
搬入管理・埋立作業委託料	244万円
埋立施設および水処理施設の維持管理費	216万円

廃棄物処理対策の検討と啓発 212万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額8万円

廃棄物の減量化と適正処理を進めるため、町と町民のみなさん、事業者のそれぞれが役割を分担し、協力するよう条例で定められています。

さまざまな廃棄物について再資源化や、ごみ処理方法の変更などについて、広報紙や啓発チラシなどでお知らせしますので、ご協力をお願いします。

また、廃棄物対策検討委員会や衛生組合と協力しながら、ごみの減量化やリサイクルを推進していきます。

今年度は、今後の最終処分場のあり方を考えるため、循環型社会形成推進地域計画を策定する予定です。

主な経費

廃棄物対策検討委員会経費	10万円
廃棄物対策推進事業経費	2万円
循環型社会形成推進地域計画策定業務委託料	200万円

1 自然や景観、生活環境を守る

衛生組合連合会事業

1万円

(町民生活課生活環境係) 前年度予算額1万円

各自治会の衛生組合長と連携して環境・衛生意識の普及や環境美化事業を行っています。

各自治会でのごみの分別や排出方法の啓発やダストボックスの維持管理、地区内清掃活動などの取り組みについて、衛生組合長を中心に町民みなさんのご協力をお願いします。

主な経費

啓発事業事務経費 1万円

環境美化巡視とクリーン作戦 49万円

(町民生活課生活環境係) 前年度予算額41万円

町では、環境美化推進のため町内を巡視し、散乱したごみや不法投棄に対する取り組みを実施しています。

春と秋には町民みなさんのご協力をいただき、各地域の環境美化運動と主要道路沿いの「クリーン作戦」を実施しますので、みなさんの参加をお願いします。

主な経費

公用車維持管理経費	9万円
環境美化・クリーン作戦経費	4万円
バス借上料	6万円
その他事務経費	30万円

食品衛生事業

6万円

(町民生活課生活環境係) 前年度予算額6万円

俱知安地方食品衛生協会に加入・連携し、食中毒の防止対策や食品衛生の普及に努めます。

主な経費

俱知安地方食品衛生協会負担金 6万円

畜犬対策と動物愛護

21万円

(町民生活課生活環境係) 前年度予算額19万円

犬や猫などのペットを飼育する人が増えると同時に、一部の無責任な飼い主がいるため、他人に迷惑や危害を加えたりする犬や猫が増え、苦情も多くなっています。

犬を放したり糞を放置しないなど、飼い主の方は責任を持ち適切にペットを飼うようにお願いします。

主な経費

狂犬病予防注射事務経費	9万円
狂犬病予防注射業務委託料	7万円
その他畜犬対策事務経費	5万円

財源

犬の登録手数料	4万円
狂犬病予防注射済票交付手数料	14万円
二セコ町の負担額	3万円

1 自然や景観、生活環境を守る

拡 火葬場機能向上改修事業

9,554万円

(町民生活課生活環境係)

前年度予算額9,72万円

老朽化が進んでいる火葬場について、地下水を利用したトイレ、水道などの給排水設備を設置し、併せて休憩室なども全面的に改修することで、火葬場の機能向上を目指します。

主な経費

機能向上改修工事（第2期工事）	7,004万円
火葬炉改修工事	1,822万円
工事施工監理委託業務	367万円
看板・門扉設置経費	147万円
備品購入	161万円
その他経費	53万円

財源

二セコ町の負担額	9,554万円
（うち借金〔過疎債〕	9,390万円）



火葬場（二セコ斎場）の維持管理 246万円

(町民生活課生活環境係) 前年度予算額257万円

町では、火葬業務の円滑な運営と適切な維持管理に努めます。

なお、火葬場の機能向上を目指し、第2期工事として火葬場の改修工事を行います。工事の期間は二セコ町の火葬場が使用できないため、近隣町村で火葬した際の火葬料の差額について扶助します。

主な経費

火葬業務委託料	91万円
町外火葬利用扶助	120万円
維持管理経費	35万円

財源

火葬場使用料	30万円
二セコ町の負担額	216万円

墓地の維持管理

54万円

(町民生活課生活環境係) 前年度予算額55万円

中央墓地のほか町が管理する墓地とその周辺環境の適切な維持管理に努めます。

主な経費

墓地管理業務委託料	41万円
墓地維持管理経費	13万円

財源

墓地使用料	28万円
二セコ町の負担額	26万円